

石川県高体連テニス部主催大会のルールとマナー

目次

1. ドロー抽選
2. 欠場者が出た場合のシードの繰り上げについて
3. 大会会場での練習
4. 大会中の棄権
5. 試合前
6. 試合中
7. 試合後
8. 筋ケイレンについて
9. ヒートルールとレストタイム
団体戦のあいさつ

1. ドロー抽選

個人戦のドローは、大会によってTP(トーナメントプランナー)による自動抽選と顧問による抽選があります。大会ごと確認してください。

2. 欠場者が出た場合のシードの繰り上げについて

【第1シード～第4シードの欠場】

欠場場所に第5シードが入り、第5シードの場所に第17シードが入る

【第5シード～第16シードの欠場】

欠場場所に第17シードが入る。

3. 大会会場での練習

城北市民テニスコート・西部緑地公園テニスコートが大会会場の場合、早朝練習は不可。
城北市民テニスコートの壁打ちは不可。

4. 大会中の棄権

- レフェリーが本人と顧問を呼んで（もしくは、レフリーが訪問して）、本当に棄権するのか意志を確認する。
- 試合の待機が入ってから（試合開始直前まで待てる）、棄権を申し出る選択肢を伝える。
- 選手本人に対して、「一度決めた事は返らない」事をしっかりと伝え、本人に決めさせる。
- ケガなどで棄権した場合、同一日でも異種目に出場できます。

5. 試合前

ドローのマグネットとみて「待機」となったら、本部で受付をしてください。ユニフォームを着用して、ドロー番号の小さい、大きいに関わらず受付にきて、

「〇〇番コートで待機(試合)の□□番××〇高校の△△です。」

とってください。早く来た方にボール、遅く来た方にバイндаを渡します。ダブルスなら2人で来てください。試合開始になっても受付が終わっていない場合は、下記のペナルティーが課されます。

1回目 → 厳重注意、2回目 → 警告、3回目 → 失格

6. 試合中

(1) **団体戦のとき、監督はトランシーバーを持ってください。**団体戦の日はコートレフェリーがいませんので、試合中の監督の片方（または両方）にトランシーバーを持ってもらい（電源 OFF の状態）、不測の事態が生じた場合に連絡をしてください。

(2) 個人戦のとき、選手は困ったことがあればコートレフェリーを呼んでください。

(3) コートレフェリーは、異常があればレフェリーを呼んでください。

(4) **スタートオブマッチ**

審判がいる場合は、審判と一緒にトスを行ってください。

- ウォームアップがサービス練習 4 球の場合

試合ができる服装でトスを行い、試合前のウォームアップを行い、**ベンチに戻らず**試合を始めます。

- ウォームアップが 3 分間練習の場合（北信越大会）*サービス練習 4 球から行き、余った時間は自由に使ってください

ウォームアップ後 1 分以内に準備をして試合を開始します。

(5) **エンドチェンジ**時に、選手はスコアボードにゲームスコアを明示してください。**番号の小さい学校が上側（または左側）**です。

(6) 審判は、主審・副審制、SCU、セルフジャッジの 3 とおりがあります。**SCU** の場合、選手のハンドシグナルは補助動作であるので、**コールによってのみプレーは中断**されます。またプレー中に他のコートからボールが転がってきた場合は、SCU が「レット」をコールしますので、コールがあるまではプレーを続けてください。

(7) 自然的体力消耗、ケイレン等の身体的不調による**試合の中断は認めません**。ただし、事故による中断はレフェリーが判断します。*「8 筋ケイレンについて」で詳しく説明

(8) タオル等の**コート後方（ベンチ外）への持ち込みは禁止**です。どうしても使いたい場合は、ポイント間 25 秒内を利用して、ベンチで利用してください。

違反した場合は、1 回目：注意、2 回目：警告、3 回目：失点、4 回目以降：1 ゲームを失う

(9) 休憩時間は、**ポイント間 25 秒以内、エンドチェンジ 90 秒以内**です。審判(主審、SCU)がストップウォッチをもつ場合は、ポイント間は 20 秒で「Time」、エンドチェンジは 60 秒で「Time」のコールをします。

(10) **ボールパーソン**は 1 コートにつき**シングルス 2 名以内、ダブルス 1 名以内**とします。配置は下記が好ましいです。

- 1 人のとき ネット
- 2 人のとき ネット、サーバーの後ろにそれぞれ 1 人
- 3 人のとき ネット、サーバー、レシーバの後ろにそれぞれ 1 人
- 4 人のとき ネット、レシーバの後ろにそれぞれ 1 人、サーバーの後ろに 2 人

パーソンは、ボールを持ったら腕を上にあげて、ボールを渡す選手の方を見て、選手が受け取れる体勢のとき、1 バウンドで渡す。

ネットパーソンは、ゲーム数も把握しておき、ゲームチェンジ、タイブレークなど、サービスを打つ選手に渡すようにする。

(11) 応援は、声だしと拍手などがありますが、**コロナ禍における応援は拍手のみ**ですが、2023 年度～はコロナ禍前に戻ります。

- ①団体戦については、最初の試合が始まるまでは 歌による応援を認める。
- ②声出し応援を認めるが、当該コートでの応援のみとする。つまり応援として立っている場所のコート後方から隣のコートでの応援は禁止である。
- ③その場でジャンプや、フェンスを揺らしたりするような応援は禁止である。フェンスに触れることも禁止とする。
- ④些細なことでも、選手に直接プレッシャーを掛けるような声掛けが認められた場合、当該試合の当該高校は応援を禁止とする。
- ⑤技術的・戦術的な応援やその選手に直接アドバイスするような声掛け、またその声掛けに選手が反応するような場合はコーチングと認め、そのような応援をした者は当該試合の応援を禁止する。
- ⑥1面全体を当該校1つで占拠することは禁止する。
- ⑦部旗等はコート後ろには付けずコート端等試合中に目に入らないところに付けることとする。
- ⑧タオルや水筒等の選手の持ち物はすべてベンチに置くものとする。

(12) 団体戦のベンチコーチ

- 1コートにつき1名のみ認めます。ただし、監督または登録選手に限ります。
- 団体戦のベンチコーチは選手と同じ倫理規定が適用されます。判定に疑問があるときは、選手・ベンチコーチは理にかなった方法で審判(主審, SCU)に尋ねることはできますが、その返答には潔く従わなければなりません。また抗議によって判定が覆ることはありません。
- 団体戦におけるコーチングについては、選手はベンチコーチから、エンド交代時にコーチングを受けても構いません。ただし、選手・ベンチコーチはコート外からの誰からもコーチングを受けることはできません。
- 団体戦では、第1ゲーム終了後に90秒以内の休憩を認め、コーチングできます。

(13) ボールを紛失した場合は、ウォームアップ中、またはボールチェンジ後2ゲーム以内に起こった場合は、ニューボールを補充する。(1球紛失したら1球を補充する。)

(14) 天候などにより試合を中断する場合、本部からのアナウンスがあってから中断します。このとき、

- 選手がボールとバインダを保管
- 大会本部にもっていき大会本部で保管

の2とおりがありますので、アナウンスに従ってください。試合再開時、サービス練習を行ってもよいです。

(15) コールを訂正

SCUの試合で、選手がジャッジを訂正した

- SCUが訂正のコールをする前
1回目は、レットでやり直し、2回目以降は失点
- SCUが訂正のコールをした後
1回目から失点

(16) 許可なく試合中にコート外には行けない

- 試合中にラケットのストリングが切れた、ドリンクがないなどの理由でコート外に行くことはできません。
- レフェリーまたはコートレフェリーの許可でコートに行く場合も、次のポイントが始まる時間内で、試合を始める必要があります。
- ドリンクやラケットをコート外から渡す場合は、レフェリーまたはコートレフェリーを介して行ってください

(17) 帽子を落とした

1 回目は、レットでやり直し、2 回目以降は失点

(18) 妨害

ダブルスで、サービスを打つとき、レシーバーのパートナーが故意にラケットを動かしたり、足で音を立てるのは妨害となり、失点となる。

7. 試合後

(1) 敗者は、ブラシがけ、審判(SCU)の仕事があります。大会ごとに異なりますので確認してください。

勝者は、バインダと(ボール)を持って審判と一緒に本部へ報告。ただし、ボールは敗者が持ち帰り or 本部へ返却なのか、大会ごとに確認してください。

(2) 受付にきて、

「〇〇番コートの試合は□□番××高校の△△がXX対YY(例 6-0 とか)で勝ちました」

とってください。

8. ヒートルールとレストタイム

ヒートルール：1 時間 30 分を越えた場合、その直後の偶数ゲームにおいて 10 分間の休憩

レストタイム【ベスト 16 以上】：

	シングルス	ダブルス
45 分未満の試合	レスト 20 分	レスト 20 分
45 分～60 分の試合	レスト 25 分	レスト 25 分
60 分以上の試合	レスト 30 分	レスト 30 分

9. 筋ケイレンについて

- 筋ケイレンの処置で MTO (メディカルタイムアウト) は与えられません。
- 筋ケイレンで動けない場合は、レフェリーがリタイアを促しますが、最終的には選手がリタイアを申告しないとリタイアとはなりません。
- 監督または顧問がリタイアについて選手と話したい場合は、レフェリーの立ち合いのもとで行ってください。
- 団体戦の試合中 (ポイント間) に選手が怪我や倒れた場合、顧問が触れることはできません。
- プレーを継続する場合には、タイムバイオレーション、さらに 25 秒以内にプレーを開始しない場合は、コードバイオレーション (ゲームの遅延) を課していきます。

10. 団体戦のあいさつ

(1) 試合方法は、大会ごと確認してください。

- 初戦はすべての試合を行なう。その他は勝敗が決定した時点でゲーム途中でも打ち切る。
- 勝敗が決定した時点でゲーム途中でも打ち切る。

(2) 試合前あいさつ

両校の選手・監督をサービスラインに並びます。

司会(顧問や大会関係者)

「サービスラインに整列してください。」

「両校は前に進んでください。」

「ただ今より○番○○高校と○番○○高校の試合を始めます。両校礼！」

「(番号の小さい) ○番○○高校の監督の先生よりメンバーの紹介をお願いします。」

「オーダーの交換をお願いします。」

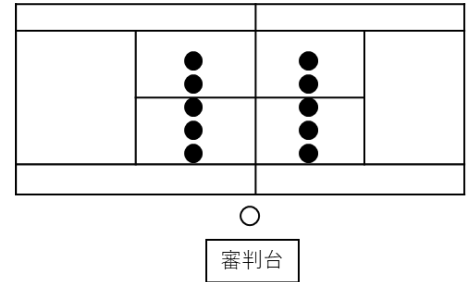
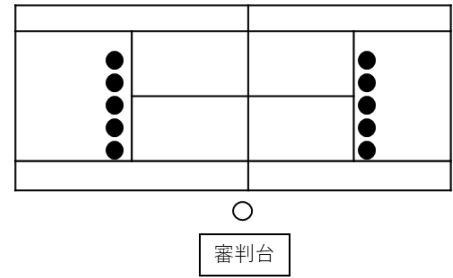
【対戦校から審判を出す場合】(「審判を決めてください。)」

高校総体なら(D, S2) と (S1) で主審(副審), または SCU を担当する。

新人大会なら (S1, S2, S3) と (D1, D2) で主審(副審), または SCU を担当する。

「○番コートでダブルス1, ○番コートにシングルス1, ……の試合を行います。」

「それでは, 選手はコートに入り試合の準備をしてください。解散してください。」



(3) それぞれの試合が終わったとき

勝者は, 本文へスコアシートのみ (スコアボードは次の試合で使用する), (ボール)を持って報告します。ただし, ボールは敗者が持ち帰り or 本部へ返却なのか, 大会ごとに確認してください。

(4) すべての対戦の終了時のあいさつ

両校の選手・監督をサービスラインに並びます。

「両校選手は前に進んでください。○○高校と○○高校の試合は, ○対○で○○高校が勝ちました。両校礼！」